

日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌投稿規定

(2014年5月改訂)

総則

1. 本誌は日本内分泌外科学会および日本甲状腺外科学会の機関誌であり、内分泌外科学・甲状腺外科学の進歩に寄与する論文を掲載する。邦文名は「日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌」(略称「内分泌甲状腺外会誌」)、英文名は「Official Journal of the Japan Association of Endocrine Surgeons and the Japanese Society of Thyroid Surgery」(略称「J JAES JSTS」)とする。
2. 本誌は日本内分泌外科学会・日本甲状腺外科学会の編集委員会が編集する。
3. 投稿原稿の種別は原則として原著、症例報告、臨床経験、特別寄稿、出席した学術集会の感想文、依頼論文(特集など)とする。臨床経験は、症例報告とするほどの新知見はないものの、1例報告として学会誌に記録しておくことが学術的に意味があると著者が考えるものが該当する。
4. 投稿は原則として日本内分泌外科学会あるいは日本甲状腺外科学会の会員に限る。ただし会員以外の投稿も編集委員長の判断によって受理することができる。
5. 投稿原稿は他誌に未発表のもの、発表予定のないものに限る。投稿論文の審査は査読制とし、採否は編集委員会において決定する。誓約書・同意書・利益相反自己申告書(COI、別記資料)を添付する。
6. 掲載された論文の著作権は日本内分泌外科学会・日本甲状腺外科学会に帰属する。
7. 掲載された論文は、J-Stage で一般公開される。
<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jaesjsts/-char/ja/>

原稿作成の手引き

1. 論文の投稿は電子媒体(電子メールの添付ファイル、またはCD-R・DVD-R・USBメモリー・SDカードなどの郵送)によって行うことを原則とする。
2. 本文の長さは原著・症例報告・臨床経験は400字原稿用紙15枚分(6000字)以内とし、図表はおのこの原稿用紙1枚分に換算する。特別寄稿、出席した学術集会の感想文は400字原稿用紙10枚分(4000字)以内とし、図表はおのこの原稿用紙1枚分に換算する。依頼論文(特集など)は別に定める執筆要綱に従う。論文原稿は標準的フォント(MS明朝、MSゴシック)を用いたMicrosoft社のWordで作成・送付する。
3. 表は標準的フォント(MS明朝、MSゴシック)を用いたMicrosoft社のWordまたはExcelで作成・送付する。
4. 図はJPEG(推奨)、TIFF、PowerPoint、EPS、PDF、Excelのデータファイルを送付する(PSD、AI、Inddは不可)。解像度は360dpi以上とする。図、写真などは白黒を原則とするが、カラーを希望する場合には所定の金額を徴収する。トレーシングを必要とする場合、お

よび特別の印刷技術を必要とする場合は実費を徴収する。

5. 誓約書・同意書および利益相反自己申告書：原著，症例報告，臨床経験，特別寄稿は，誓約書・同意書に著者全員が署名し PDF ファイルとして送付する。利益相反自己申告書は Word ファイルに入力し Word ファイルで送付する。（誓約書・同意書の PDF ファイルが作成できないときは，誓約書・同意書のみ学会事務局へ郵送する）

6. 投稿する電子媒体のファイル名は次のように投稿者名や図表番号を用いてわかりやすい名前をつける（拡張子は例）

論文原稿：例）今井原稿.docx，岡本原稿.doc

表：例）表 1.xlsx，表 2.xls

図：例）図 1.jpg 図 2.tiff 図 3.ppt 図 4.eps 図 5.pdf 図 6.xls

誓約書：例）誓約書.pdf

7. 論文原稿は以下の順で番号毎に改ページを行い記述する。

1) 論文種別（原著，症例報告，臨床経験，特別寄稿），題名，所属，著者名（姓と名のあいだにスペースを入れる：例）今井 常夫），所属施設住所，校正者連絡先（氏名・住所・名称・所属科・電話番号・FAX 番号・e-mail アドレス）

2) 英文論文種別（Original Article, Case Report, Clinical Experience, Special Contribution），英文題名，英文所属，英文著者名（全員記載する。姓名とも最初の一文だけ大文字とする：例）Tsuneo Imai），英文索引用語（5語以内）

3) 和文要旨（400 字以内），和文索引用語（5語以内）

4) 本文：以下の順に記載する

はじめに

対象と方法（症例と方法）

結果（成績）

考察

おわりに

謝辞（科研費などの受理，学術集会で発表したものはその旨の記載をする）

5) 文献

6) 図の説明文，表のタイトル

8. 出席した学術集会の感想文の書式は特に規定を設けない。英文論文種別（Report on an academic meeting），英文題名，英文所属，英文著者名を記載する。

引用文献の記載について

1. 本文に引用した順序に番号を付け配列する。本文中の該当箇所に対応する番号を括弧内に数字を入れてあらわす：例（1）。
2. 著者名は筆頭者から 3 名までは列記し，それ以上は他または et al.とする。

3. 引用雑誌名は略名とし、日本語文献は「医学中央雑誌略名表」、外国文献は「Index Medicus」に従い、以下の文献記載例を参照して記載する。

4. 文献記載順序

1) 雑誌

引用番号)著者名:論文タイトル. 雑誌略名 巻:初頁—終頁, 発行年(西暦年号)

2) 書籍

引用番号)著者名:論文タイトル. 書名 編集者名, 発行所, 発行地, 発行年(西暦年号), 初頁—終頁.

3) インターネットのみに存在する情報(文献)

引用番号)著者名:Webページの題名. Webサイトの名称 URL(アドレス) 参照年月日

5. 例)

- 1) 吉田明, 岡本高宏, 北野博也他:甲状腺腫瘍診療ガイドラインに関わって. 内分泌甲状腺外会誌 28:355-356, 2011
- 2) Cooper DS, Doherty GM, Haugen BR, et al.: Revised American Thyroid Association Management Guidelines for Patients with Thyroid Nodules and Differentiated Thyroid Cancer. *Thyroid* 19: 1167-1214, 2009
- 3) 泌尿器腹腔鏡手術ガイドライン 副腎腫瘍に対する腹腔鏡下副腎摘除術 *Jpn J Endourol ESWL* 21: 3-14, 2008
- 4) 日本内分泌外科学会・日本甲状腺外科学会編:甲状腺腫瘍診療ガイドライン. 2010年版 金原出版, 東京, 2010, p7-9.
- 5) 高見 博, 村井 勝:第1章 内分泌外科総論. 村井 勝, 高見 博(編), 内分泌外科標準テキスト第1版 医学書院, 東京, 2006, p1-7.
- 6) Takami H: Hypercalcemic crisis. In: Clark OH, Duh Q-y, Kebebew E (eds), *Textbook of Endocrine Surgery 2nd edition* Elsevier Saunders, Philadelphia, 2005, p543-548.
- 7) 国立がん研究センターがん対策情報センター:がん情報サービス 統計 <http://ganjoho.jp/professional/statistics/index.html> 平成23年11月5日参照
- 8) NCCN clinical Practice Guidelines in Oncology: Thyroid Carcinoma Version 3.2011 http://www.nccn.org/professionals/physician_gls/pdf/thyroid.pdf Accessed 2011 Nov 5

その他

1. 投稿原稿の要約

	本文字数	和文要旨	索引用語
原著	6000字以内	400字以内	5語以内
症例報告	6000字以内	400字以内	5語以内
臨床経験	6000字以内	400字以内	5語以内
特別寄稿	4000字以内	400字以内	5語以内
出席した学術集会の感想文	4000字以内	不要	不要

図表はおのこの原稿用紙1枚分に換算する。

2. 掲載料金

原 著	30,000円
症 例 報 告	20,000円
臨 床 経 験	20,000円
特 別 寄 稿	無料
出席した学術集会の感想文	無料

※カラー印刷希望の場合は、写真1点につき約15,000円を著者負担とする。

特集掲載論文は無料

3. 別刷は30部を贈呈するが、それ以上は著者負担とする。

4. 著者校正は原則として初校のみとする。

原稿送付先

E-mailによる投稿を原則とする。投稿論文ファイルはE-mailの添付ファイルで送る。

E-mail: journal-gakkai@umin.ac.jp

電子媒体や誓約書を郵送する場合は学会雑誌編集部へ郵送する。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-3-5 サンライン第6ビルB1

日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌編集部

TEL:03-6447-1367 FAX:03-6447-1369

E-mail: journal-gakkai@umin.ac.jp